（ NO1 ）

行 政 視 察 報 告 書

令和８年１１月　２日

長浜市議会議長　中川　リョウ　様

長浜市議会議員　　清水　達也

私が出席した次の行政視察の結果について報告します。

記

１．視察等名　　令和８年度産業建設常任委員会行政視察研修
２．視察期間　　令和８年１０月２８日（水）～１０月２９日（木）
３．視察場所及び目的
①広島県尾道市
「観光振興について」
②岡山県井原市
「地域農産物総合交流センター（葡萄浪漫館）について」
４．調査内容感想等

・視察の目的

広島県尾道市では、歴史的な街並みや文化財、空き家などの地域資源を活用した観光復興について調査し、観光客の誘致や滞在時間の延長、地域経済の活性化につながる取り組みを学ぶことを目的とした。

岡山県井原市では、地域農産物総合物流センター（葡萄浪漫館）を視察し、農産物の生産、販売に加え、イベントや伝統文化を活用した多世代交流、地域農業の振興について調査することを目的とした。

長　浜　市　議　会

・視察内容

① 広島県尾道市「観光振興について」

尾道市では、３つの日本遺産の村上海賊、北前船、箱庭的都市などの歴史、文化資源を活用し、地域の魅力を観光につなげる取り組みについて学んだ。

また、文化財のライトアップなどによる夜間の観光振興や空き家、古民家を宿泊施設等に活用する取り組みについて説明を受けた。

行政と NPO 法人などが連帯し、歴史的な町並みの保全と地域の活性化を両立させている点が印象に残った。

さらに、SNS 等を活用した情報発信や、サイクリングや町歩き観光を取り入れた観光振興にも取り組んでいる。

配布資料によると、尾道市の観光客数は令和２年から令和３年にかけてコロナ感染もあり減少したものの、その後回復し、令和６年には約６６７万人となっている。また観光消費額も令和４年の２５５億円から令和６年には約３６９億円へ増加している。

これらの資料から、観光客数を増やすだけではなく、宿泊や飲食、買い物につなげ、地域内での消費を増やすことが観光振興において大切だと学んだ。

② 岡山県井原市「地域農産物総合物流センター（葡萄浪漫館）について」

井原市では、ぶどうを中心とした農産物の販売に加え、イベントや伝統文化を活用した地域交流の取り組みについて学んだ。

葡萄浪漫館は、農産物の生産、流通、販売を支える施設であるとともに、神楽や音楽イベントなどを開催する交流拠点としても活用されている。

現地での説明やメモから、農産物の販売が盛んな時期だけでなく、（シーズン６月～11 月）（７月・８月・９月３割の客数）イベントを通じて（山を走るマウンテンバイク大会・神楽・ふれあいマラソン・音楽イベント・居酒屋など）幅広い世代が集まる機会をつくり、施設の利用や地域のにぎわいにつなげようとしていることがわかった。

また、こどもや若い世代が伝統文化に触れる機会を儲けることは、文化の継承だけでなく、世代を超えた交流にもつながると学んだ。

・行政視察の結果を本市にどのように反映させるか

① 広島県尾道市「観光振興について」

尾道市の視察を通じて学んだ、歴史、文化資源を活用した観光振興や、空き家、古民家の活用、情報発信の工夫について、長浜市の施策にも生かしていきたい。長浜市にも、歴史的な町並みや文化財、祭り、伝統文化など、多くの地域資源がある。これからの魅力をさらに発信するとともに、夜間の観光や宿泊、飲食、買い物につながる取り組みを進め、観光客の滞在時間の延長と地域内での消費拡大を目指すことが大切だと思う。

② 岡山県井原市「地域農産物総合物流交流センター（葡萄浪漫館）について」

井原市の葡萄浪漫館のように、農産物の販売とイベント、伝統文化を組み合わせる取り組みは、長浜市の農業振興や地域交流を考えるうえでも参考になると思った。

地域農産物の販売促進に加え、子どもた若い世代が参加できるイベントを充実させ、地域の魅力を知ってもらう機会を増やすことで、農業への関心や地域への愛着を育むことにつなげたい。

今回の視察で得た知見を今後の議会活動に生かし、行政や地域住民、民間事業者、関係団体との連帯を大切にしながら、長浜市の観光振興、農業振興および地域の活性化に向けて取り組んでいきたい。

長　浜　市　議　会